

令和7～令和12年度  
自治体中間サーバー・プラットフォーム  
管理機器賃貸借  
仕 様 書

令和7年7月

岩沼市

## 仕 様 書

### 1 件名

令和 7 ～令和 1 2 年度 自治体中間サーバー・プラットフォーム  
管理機器賃貸借

### 2 履行場所

岩沼市桜一丁目 6 番 2 0 号 地内

### 3 準備期間

契約締結日翌日から令和 8 年 2 月 2 8 日まで

当該準備期間中に自治体中間サーバー・プラットフォームの第三次基盤  
環境構成に関連する機器について、設定作業を完了すること。

### 4 賃貸借期間

令和 8 年 3 月 1 日から令和 1 3 年 2 月 2 8 日まで（6 0 カ月）

（地方自治法第 2 3 4 条の 3 に規定する長期継続契約である）

### 5 概要

令和 8 年 4 月から更新予定である自治体中間サーバー・プラットフォームの  
第三次基盤環境に向けた機器調達及び設計、構築、移行に関する設定作業を行う  
もの。

### 6 目的

地方公共団体情報システム機構（以下、「J-LIS」という。）が運営する自治体中  
間サーバー・プラットフォームによりマイナンバーを使用した情報連携業務が  
可能となっており、令和 8 年 4 月から第三次基盤環境での利用開始が予定され  
ている。

この高度なセキュリティと可用性が保持された環境での利用を目的とするも

のである。

## 7 内容

### (1) 機器の調達（詳細は別紙参照）

- (ア) 中間サーバー・プラットフォーム接続用ファイアウォール 2 式
- (イ) 中間サーバー・プラットフォームネットワーク用レイヤー 2 スイッチ 1 式
- (ウ) 中間サーバー・プラットフォームネットワーク機器用無停電電源装置 1 式
- (エ) 中間サーバー・プラットフォーム管理端末 1 式
- (オ) 中間サーバー・プラットフォーム接続端末 1 式

### (2) 基盤環境導入作業

- (ア) プロジェクト管理
- (イ) システム方式設計（システム基本設計）
- (ウ) システム環境設計（システム詳細設計）
- (エ) システム環境構築
- (オ) 単体試験（試験仕様書の作成、及び結果の記録）
- (カ) システム基盤試験（試験仕様書の作成、及び結果の記録）
- (キ) 機器の搬入
- (ク) 現地ハードウェア設置・ラック搭載、結線
- (ケ) 移行作業

## 8 内容の詳細

### (1) 基盤環境導入作業

#### (ア) プロジェクト管理

本設計工程業務は以下を網羅すること。

- ・年間計画 WBS 作成・進捗管理/報告
- ・非定例打合せ

以下、計画ごとに本市の担当者と調整して日時を定め、実施すること。

- ① 本番移行準備対応
- ② 移行リハーサル前
- ③ 本番移行前

#### ④ 緊急を要する課題対応時

- ・課題管理/対応

課題の対応状況について、リアルタイムに共有を行なうこと。

また、非定例打合せ時にも最新状況の報告を行なうこと。

#### (イ) システム方式設計（システム基本設計）

本設計工程業務は以下を網羅すること。本工程に対するアウトプットについては「(コ) 完成図書の整備・納品」に記載する。

原則、既存環境からの踏襲が可能な設計は全て踏襲すること。ただし機器更新に伴う変更条件がある場合は、本市に事前に変更点と内容を報告のうえ着手すること。

- ・要件確認、既存環境調査（移行要件等の確認・整理、現行機器の設定・設置状況、配線、電源等の確認、初回打合せ）
- ・ネットワーク物理設計（物理構成、配線、通信速度）
- ・ネットワーク論理設計（論理構成、トポロジ、セグメント、信頼性）
- ・ネットワーク構成規約設計（装置名称規約、VLAN 規約、IP アドレス規約、ID/パスワード規約）
- ・ネットワーク構成図作成

#### (ウ) システム環境設計（システム詳細設計）

ネットワークについては、システム方式設計に従い、各調達機器単位のパラメータ設計を行うこと。本工程に対するアウトプットについては「(コ) 完成図書の整備・納品」に記載する。

原則、既存環境からの踏襲が可能な設計は全て踏襲すること。ただし機器更新に伴う変更条件がある場合は、本市に事前に変更点と内容を報告のうえ着手すること。

また、端末については J-LIS より発行の導入手順書に準拠した範囲でパラメータ設計を行なうこと。

J-LIS 発行の導入手順書については、同機関より提供されたものを本市か

ら受注者に提供する。

#### (エ) システム環境構築

設計内容に従い、方式設計・環境設計のとおり構築を行うこと。また、個別設定値を除き、環境構築含む導入作業は J-LIS 提供の導入手順書に準拠すること。

環境構築対象装置は作業範囲を以下のとおりとする。

- ・ファイアウォール装置
- ・レイヤー2 スイッチ
- ・管理端末
- ・接続端末

なお、管理端末、及び接続端末については、「自治体中間サーバ用 CA 証明書のインストール」及び証明書インストール後の接続テストも範囲とすること。

本業務で調達する端末用ソフトウェアを全てインストールし、業務利用可能な設定を施すこと。

端末のストレージは全て暗号化を行なうこと。その為に暗号化ソフトウェアが必要となる場合は受注者負担で見込むこと。

#### (オ) 単体試験（試験仕様書の作成、及び結果の記録）

「(エ) システム環境構築」で記載した環境構築対象について、設計のとおり構築されているかの確認試験が網羅された試験仕様を作成すること。作成した試験仕様に基づき試験を行ない、結果の記録をすること。また、その承認を本市から得ること。本試験結果に不合格や虚偽があってはならない。本工程に対するアウトプットについては「(コ) 完成図書の整備・納品」に記載する。

(カ) システム基盤試験（試験仕様書の作成、及び結果の記録）

「(エ) システム環境構築」で記載した環境構築対象について、運用環境に接続後の本システム基盤としての機能の正常性確認が網羅された試験仕様を作成すること。試験仕様に基づき試験を行ない、結果の記録をすること。また、その承認を本市から得ること。本試験結果に不合格や虚偽があつてはならない。

本工程に対するアウトプットについては「(コ) 完成図書の整備・納品」に記載する。

(キ) 機器の搬入

機器の搬入において必要となる費用は、全て受注者負担にて行うこと。

(ク) 現地ハードウェア設置・ラック搭載、結線

端末を除く本業務の調達機器は、全て本市の所有するラック内に搭載・設置、収容すること。機器の設置位置は、本市と協議のうえ定めるものとする。

(ケ) 移行作業

移行作業については J-LIS の定める以下の計画に従い、全て対応すること。

本番移行リハーサル及び本番移行作業については、業務影響が出ないように必ず休日対応で見込むこと。実施手順は J-LIS の定めに従うこと。

実際のスケジュールについては、J-LIS より割り当てられたスケジュールグループ期間での業務実施となる。各工程において前述の定められた期間内で業務を完了すること。

また、最終の本番移行作業完了後、翌営業日の業務立合いを半日以上行なうこと。

(1) 本番移行準備対応

実施期間：令和 7 年 10 月内に完了

- ・ 第二次～第三次 VPN 装置の LAN 側切り替え
- ・ 団体内システム連携テスト立ち合い
- ・ 機関間テスト立ち合い

① 本番移行リハーサル

実施期間：令和7年10月～令和8年2月内に完了

②本番移行作業

実施期間：令和7年11月～令和8年2月内に完了

(コ) 完成図書の整備・納品

以下のとおり完成図書を整備し、納品すること。備考に記載の内容についても網羅すること。

項	完成図書(納品物)	提供形態	部数	備考
1	方式設計書	電子	1	各方式、構成設計をまとめたもの
2	環境設計書	電子	1	以下装置に関する環境設定値を記載した資料の作成 ・ファイアウォール装置 ・レイヤー2スイッチ ・管理端末、接続端末
3	試験仕様書 (単体/システム基盤)	電子	1	各試験仕様、及び結果の記録が記されたもの
4	ネットワーク移行作業手順書	電子	1	以下の切替作業ごとのネットワーク移行・切替に関する移行作業手順、及び移行結果の記録をしたもの ・リハーサル移行 ・本番移行
5	端末手順書	電子	1	中間サーバー・プラットフォーム管理 端末兼接続端末に関する以下の手順書 ・端末初期設定手順書 ・端末サインイン手順書

## (2) 運用保守

### (ア) ハードウェア保守

- ・ 中間サーバー・プラットフォーム接続用ファイアウォール  
サービス時間帯は平日 9 時～17 時の範囲で行ない、メーカー主体のサポートを J-LIS の定める導入試験期間、及び賃貸借期間内で対応すること。
- ・ 中間サーバー・プラットフォームネットワーク用レイヤー 2 スイッチ  
サービス時間帯は平日 9 時～17 時の範囲で行ない、翌営業日以降対応の先出しセンドバック保守を J-LIS の定める導入試験期間、及び賃貸借期間内で対応すること。
- ・ 中間サーバー・プラットフォームネットワーク機器用無停電電源装置  
サービス時間帯は平日 8 時半～19 時の範囲で行ない、サービス時間帯の範囲内で受付完了後・当日 2 時間以内到着のオンサイト修理を、J-LIS の定める導入試験期間、及び賃貸借期間内で対応すること。  
また、バッテリーの定期消耗時の定期交換において、交換作業及び定期交換バッテリー代を本保守に含むこと。
- ・ 中間サーバー・プラットフォーム管理端末、及び接続端末  
サービス時間帯は平日 9 時～17 時の範囲で行ない、翌営業日以降対応のオンサイト修理を J-LIS の定める導入試験期間、及び賃貸借期間内で対応すること。

## 8 賃貸借料の請求及び支払い等

受注者は該当月経過後、速やかに当市に対して請求するものとし、当市は受注者の提出する

適法な支払請求書を受理した日から 30 日以内に受注者に対して支払うものとする。

## 9 その他・特記事項

- (1) 本作業にあたっては、機構、関連業者との調整が必要となることから本市の指示に従い作業を行うこと。
- (2) 本仕様書に記載されていない事項又は記載内容に疑義が生じた場合には、協議のうえ決定すること。
- (3) 作業時間帯は原則平日 9 時～17 時の範囲とする（土日、年末年始、祝祭日を除く）。  
ただし機器の切替作業など、業務影響を及ぼすと想定される作業は休日 9 時～17 時対応、または平日 18 時以降の作業とするなど、本市と相談のうえ対応日時を調整すること。



- (4) 本業務において、既存業務システムに支障等をきたさないよう細心の注意を払いながら作業を行い、本業務に起因する既存業務システムの障害が発生した場合は、受注者の責任において早急に復旧すること。
- (5) 現地作業を実施する場合は、通常業務への影響を最小限となるように調整し、効率的に作業を行い、作業場所の管理を行う担当者の指示に従うこと。
- (6) 受注者は、本業務に関して知りえた一切の事項について、第三者に漏らしはならない。また、業務終了後についても同様とする。
- (7) 受注者は、本業務に関わる全ての個人情報の保護・管理について、当市個人情報保護法施行条例を遵守し業務遂行するものとし、当該情報の漏洩、紛失、毀損等の事故発生を防止するため、必要な措置を講じること。
- (8) 本調達範囲は基盤環境の更新である為、中間サーバー・プラットフォーム管理端末、及び接続端末からのシステム連携確認は含まないものとする。  
別途業務システム担当業者が対応するものとする。
- (9) 既存機器のログイン情報等、既存機器情報については契約締結後、本市から受注者に情報提供を行なう。
- (10) 本委託業務は、基盤環境の設計・構築・移行である。従って業務システムの範囲は含まない。ただし本業務システム担当の既存業者との連携は必須とする。既存の本業務システム担当業者と密に相互連携を行ない滞りなく業務を完遂すること。これを怠ることにより本業務の遂行に影響を出してはならない。
- (11) 本委託業務において、J-LIS より発行の導入手順書を本市から提供する。  
各自治体向け共通事項については、本導入手順書にて指定のある内容を網羅した形で各作業を行なうこと。